

議会だより

CONTENTS

2019.5.1 vol.61



- 2 … ここに注目 (主な内容)
- 4 … 総務厚生委員会レポート
- 7 … 産業建設文教委員会レポート
- 10 … 3月定例会で審議された案件
- 12 … 一般質問
- 18 … 平戸のチカラ



『田平学童保育所 ビートルクラブ』の皆さん

と
か
い
せ
ん

No.61 2019.5.1 平戸市議会だより

編集・発行：平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-4111 FAX22-3427 E-mail: gikai@city.hirado.lg.jp

平戸のチカラ

このコーナーでは平戸で元気に頑張っている女性の皆さんをご紹介します。



『田平学童保育所 ビートルクラブ』

田平学童保育所 ビートルクラブは、田平の子どもたちが健やかにたくましく成長し、安心して放課後の時間などを過ごせる居場所づくりを提供されています。

Q これまでの経過を教えてください。

A 平成26年4月から田平町民センターで正式に学童保育を始めました。当初は20人ほどの児童が通っていましたが、年々児童数が増え、平成28年5月からは田平北小学校敷地内に新たに建設された施設に場所を移しました。現在は95人の児童が通っており、職員は10人です。

Q 普段の様子を教えてください。

A 子どもたちはビートルクラブに「ただいま」と言って帰ってきます。部屋に入ると、まずは宿題をし、それが終わるとおやつを食べ、そして、保護者が迎えに来るまでお友達と遊んでコミュニケーションを深めています。職員は宿題を見たり、子どもが遊ぶ際の見守りも行なっています。

Q 職場の雰囲気は？

A チームワークばっちり。毎週全員でミーティングをし、子どもたちの情報共有を図っています。また、改善点などの意見を出し合って、何が子どもたちにとって一番いいのか、どのようにしたらより良い環境を提供できるのか常に改善に努めています。



Q 心がけていることを教えてください。

A 子どもたちが健やかにたくましく成長できるよう、野外活動なども実施しています。地域の方々の協力を得て、イモ掘りや秘密基地作りなどを行っています。時には転んだりしてけがをすることもあります。このような経験を通して、子どもたちはけがをしないよう注意することができるようになり、また、人の痛みも分かるようになりますので、お友達にも優しく接することができるようになると思います。

また、子ども同士で時にはけんかをするかもしれませんが、子ども同士で折り合いをつけ、きちんと仲直りすることができています。

私たちは、安全に十分配慮した上で、子どもたちに色々な経験を積んでもらい、社会でたくましく過ごすことができるよう、しっかりと見守りを行なっています。

Q 今後について

A 私たちにとって子どもの成長が何よりも嬉しいことです。今後も保護者の皆さん、そして、地域の皆さんと協力し、子どもたちの成長を温かく見守っていきます。



広報特別委員会

委員長	山崎	一洋
副委員長	池田	稔巳
委員	井元	宏三
委員	小山田	輔雄
委員	松尾	実
委員	山田	能新

平成はバブル崩壊やリーマンショックに端を発した株価の暴落など経済が激動した時代でありました。また、東日本大震災など震災の多い時代ではなかったかと思えます。しかし、今日から『令和元年』が始まります。「令」は「好い」という意味があるそうです。令和の時代が「好い和」という穏やかな時代になって欲しいと思います。さて、平戸市でも新年度の事業計画・予算も決まり穏やかにスタートしました。しかし、少子高齢化や若者の流出などによって平戸市の人口減少は止まりません。また、経済面でも低迷感が否めない状況にあります。そこで平戸市長を中心とする理事者と私たち議会と一体となってこの難局を必死で乗り越えなければなりません。そして、「好い和」の時代を迎えなければならぬと思います。(山田 能新)

編集後記

